

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	担当の利用者以外にも目を向ける必要がある。	利用者の思いをチームワークで支援していく。	会議にてその都度利用者の状態に合った支援が出来ているか確認、話し合いを行う。気持ちシートを利用者全員に実施し、職員間で確認し合う。各担当が気持ちシートを個別援助計画に反映させ取り組んでいく。	12ヶ月
2	38	一人一人に合った生活の支援が必要			
3		(評価)気持ちシートを活用することで、利用者の声を大切に耳を傾けることができた。思いを口に出来ない利用者や、思いをあまり拾うことが出来なかったケースでは、職員間で日頃の様子などから意見を出し合い、理解に繋げることが出来た。気持ちシートはいつでも職員全員が確認ができるようにしている。個別援助計画が毎回同じ内容になっているため、反映させることでQOLの向上に繋がらなかったが、記録だけで実行に至っていない。施設スケジュールを優先し、周辺症状や利用者のその時の気分に応じた臨機応変な対応ができない事がある。その都度話し合いをしているが、今後もケアが業務的にならないように、利用者一人一人に尊重した対応ができるように話し合いを重ねていく。			ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	スタッフ主導の行事やレクリエーションになっている	行事計画を利用者と進めていくことで、楽しみのある生活にしていく。	現在行っている壁面作成や食事のレクリエーション等、計画や準備段階から利用者と一緒を進めていく。全体行事だけでなく、一人一人の能力に合わせた支援にも配慮する。日々の会話の中から、～がしたい。といった発言を記録に残していく。	12ヶ月
2	48	個別支援の意識が薄い			
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。